

学生と信頼関係を築く話の聴き方 -応用編-

信州大学教育学部附属教育実践総合センター
鈴木 俊太郎

本日の流れ

分かっていたきたいこと

- ・GPA面接の表向きの目的と真の目的
- ・信頼される大学の教職員としての対応のコツ

1. GPA面接の目的
2. マニュアルの確認
3. 前回のFD+マニュアルの面談プロトコル
4. 練習
5. ちょっとしたコツでアレンジ

2

学生と信頼関係を築く話の聴き方
-応用編-

1. GPA面接の目的

3

何学生指導 応用編のためにGPAを利用した個別面接をするの？

信州大学における修学指導の実施について

1)目的

平成26年度後期から開始する全学的な修学指導体制は、学生と担任が「面談の記録」を用いて面談を行うことによって、前学期のGPAを参照するとともに、学生自身の修学状況の振り返りを通して、当該学期の修学に向けての課題を明確にし、相互確認とそれに対する教員からの助言・指導を通して、継続的な学生支援の機会とすること、を目的とする。

4

1)なぜこんな個別指導のようなことをするかという

成績不振者や単位未修得による留年者は、高い割合で大学生活の不適応を示すので、早めに芽を摘みたいのです。

症状は、予防や慢性化する以前に対応しておいた方が、コスト的に楽なはず(学生にとっても、教職員にとっても)。

だからみんな、頑張っ学生に声をかける機会を多くしよう！

5

表向き → 成績や履修状況についての確認
次のセメスター以降の改善模索

裏(というか真)の目的

学生と教員のコミュニケーションを密にする機会を作り、お互いに声を掛けやすくする



教員 → 学生個人に興味を持つ

学生 → 教員に「なんか話しやすそう」「良い人そう」という印象を持つ

6

学生と信頼関係を築く話の聴き方
-応用編-

2. マニュアルの確認



別紙2をご参照ください。
学生はこういう紙を持って面談にやってくるそうです。
そこには、

1. 前学期までの累積GPA
2. 今学期のGPA
3. DやFがあった場合、あるいは無かった場合、どうしてそうなったかの見解
4. 出席に関する問題点

が記載されています。

8

先生用のマニュアルはこんな感じです

学生指導
応用編



- 別紙4をご参照ください。
先生方は、以下のことをします。
- ① GPAの推移についてどう思うか尋ねる
 - ② 勉強意欲、勉強に関する不安は無いかな尋ねる
 - ③ アドバイス
 - ④ Dを取った科目の確認と再履修のススメ
 - ⑤ Fを取った科目の確認と原因説明・今後どうするか
 - ⑥ 出席状況の確認と出席に関する不安・問題の確認
 - ⑦ アドバイス(必要なら)
 - ⑧ 相談チャンネルの紹介

9

学生と信頼関係を築く話の聴き方
-応用編-

3. 前回のFD+ マニュアルの面談プロトコル

やってみました。前回FD+ マニュアル通りに

学生指導
応用編

Aさん(21歳、女性、教育学部教育カウンセリング課程)
※以下、AはAさん、Tは鈴木を指す。①~⑧はスライド9と対応

T:Aさん、今日はよろしくお願ひしますね。

A:はい、お願ひします。

T:では早速ですが、書いてきた紙、見せてもらえますか？

A:はい・・・これです、どうぞ。

(Aさんは多少もじもじ、緊張しているようです)

T:・・・なるほど、前よりも少しだけGPAの数値が下がっていますね。・・・どうしてこれだけ下がってしまったのか、簡単に説明してもらえますか？①

A:・・・えーっとですね、・・・たぶん社会心理学と社会心理学演習の2つの科目が足引っ張りだったんじゃないかと思ひます。

11

面談プロトコル

学生指導
応用編

T:足引っ張り？

A:うん、そうですね。あの授業、毎回1コマにあって、しかも開始10分が小テストなんです。それに4回くらい遅刻しちゃって・・・でも、遅刻は、今学期バイト入りすぎちゃったからだってこと、よくわかってるんで、大丈夫です。1コマの授業がある前日は、バイト入れない方が良くって、最近よくわかりました。

T:なるほどね。バイトを少しコントロールすることが課題なんですね。・・・バイト以外にも、最近長野に来て、勉強意欲が落ちてきたとか、勉強に関する不安があるとか、そういうことが成績に影響していたりしませんか？②

A:とくには・・・あ、でも、意欲とかではないけど、最近統計の授業が増えてきて・・・ちょっと不安です。

12

面談プロトコル

T: 不安？具体的にはどんなことが？

A: え一つとですね・・・みんなは分かっているようなんですが、私、数学苦手で・・・全部を把握することが難しくて。相関係数を出したり、分散分析したり、もしテストで手計算しろって言われたら不安で不安で・・・頑張ってるんですけど、そこまでは覚えられなくて・・・

T: そうですね。心理学は文系のくせに統計があるから、ちょっと抵抗を感じますよね。

A: はあ。意外としっかりやりますよね、この大学。

T: (笑)熱心に指導してもらっていますね。でも、私も手計算はできないなあ。どうなんでしょう？全部覚えろ、全部計算しろ、って先生から言われているのですか？

A: いや、パソコンでやるんで、そこまでは。

13

2014年度FD第4回 2014.12.11

面談プロトコル

T: なるほど。ご担当の先生は、きっと質問すれば必ず答えてくれると思うので、試験の出題範囲や重要な点、疑問を担当の先生と相談するといいかもかもしれませんね。③

A: ああ、そうですね。

T: 先生とお話すること、抵抗あったりします？

A: いえ、全然(笑)優しい先生なんで。

T: じゃあそうしましょう！・・・さて次ですが・・・Aさん、今回の成績で、DやFの教科はありましたか？④&⑤

A: Fは無いけど、Dは。

T: ありました？うーん、どうしてその教科、Dだったんでしょう？

A: いや、仕方ないんです。勉強不足です。・・・でも、言い訳でもないですけど、5割以上の人が再履修なんですよ、それ。難しくて、1回じゃ無理でした。

14

2014年度FD第4回 2014.12.11

面談プロトコル

T: ふーん・・・でも、また再挑戦する？

A: します。免許に必要なんで、当然。

T: ああ、なるほど。やる気十分ですね！では、勉強不足とのことでしたので、今度はきちんとバイトもコントロールして臨める・・・？

A: そうですね。減らします。テスト前は特に。

T: OK。ではでは、最後にAさん、出席状況について何か問題があればお聞きしますが・・・ここは空欄ですね。特に学校に来辛いとか、特定の授業に足が向かない、とかありませんか？⑥

A: ええ。1コマきついんですが、それはまあ怠けというか、なんというか。

T: なるほど。了解です。・・・今は問題ない、楽しく学校に来ている、という理解でよろしいと？

A: ええ。そうですね。

15

2014年度FD第4回 2014.12.11

面談プロトコル

T: わかりました。・・・最後ですが、もし学校生活で何かあったら、ぜひ覚えておいてほしいのですが、これを見てください。

(学生相談センターの案内を見せる)⑧

T: さまざまな悩みで、一人で解決できそうにない時は、こういう機関を利用することもできます。もちろん、私たち教員に声をかけてもらってもOKです。一人で不安や悩みを抱え過ぎずに、これからも気軽に、学内で声をかけてもらえたらありがたいです。

A: ああ、そうなんです。わかりました。

T: ...はい。ということで、以上で面談は終了ですが、何かほかに気になることや質問はありますか？

A: いえ、特には。

T: それでは今日はありがとうございました。また何かあったら気軽に声をかけてくださいね。

16

2014年度FD第4回 2014.12.11

やってみよう！GPA面接

2人一組。スライド9枚目を参考に、GPA面接をやってみましょう。前回の、①かかわり技法、②開かれた質問、③反射の3つを思い出しながら！

- ・1年次前期のGPA=3.5 1年次後期のGPA=3.2
- ・下がった原因→寝坊する授業が増えてしまった
- ・意欲→減退気味、サークルや飲み会の方が楽しい
- ・Fは無いが、Dが1科目。月曜1コマの授業。理由としては、サークルの練習が日曜日夜遅くまであり、その後飲み会に参加してしまい、起きられない。
- ・出席状況には特に不安な点は無い。

18

2014年度FD第4回 2014.12.11

17

学生と信頼関係を築く話の聴き方
-応用編-

4 . 練習

GPA面接で劇的に成績が改善されるのか？

結論:たぶん無理。

思い出して...

裏(というか真)の目的

学生と教員のコミュニケーションを密にする機会を作り、お互いに声を掛けやすくする

↑
最低限、これだけ達成できればいい！(ことにしよう)

20

2014年度FD第4回 2014.12.11

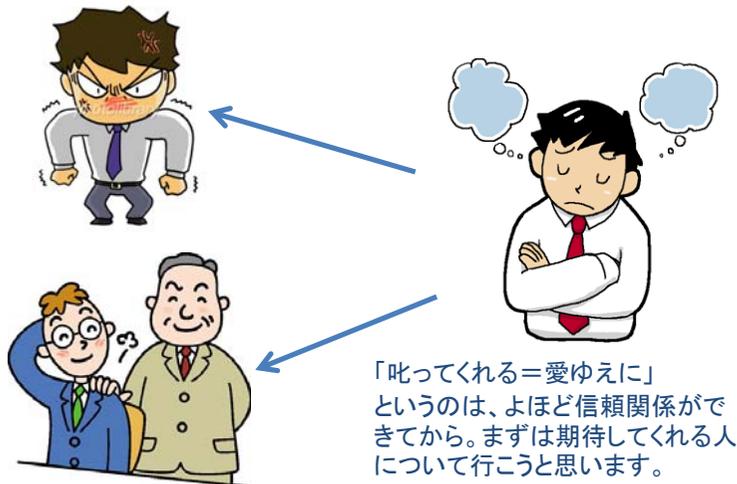
19

学生と信頼関係を築く話の聴き方
-応用編-

5 . ちょっとしたコツでアレンジ

期待されるとがんばりたくなる、好きになる

学生指導
応用編



2014年度FD第4回 2014.12.11

21

具体的には ①面談中1回は必ず相手を褒める

学生指導
応用編

- 褒める…結果を認める
- 励ます…もう少し、後少し、君ならできる
- ねぎらう…プロセスを認める

とくに、「ねぎらう」を多用できれば、相手は信頼感を持ってくれます！

22

2014年度FD第4回 2014.12.11

こんな感じ ねぎらう

学生指導
応用編

T: 不安？具体的にはどんなことが？

A: え一つとですね…みんなは分かっているようなんですが、私、数学苦手です…全部を把握することが難しくて。相関係数を出したり、分散分析したり、もしテストで手計算しろって言われたら不安で不安で…頑張ってるんですけど、そこまでは覚えられなくて…

T: そうですね。心理学は文系のくせに統計があるから、ちょっと抵抗を感じますよね。それにしてもAさん、すごい頑張って勉強していますね、統計。今の時点からテストも意識して、具体的に苦手部分も把握して取り組んでいる。すごく大変なことですが、やれていますよね！…でもまあ、統計、苦労しますよねえ。

A: はあ。意外としっかりやりますよね、この大学。

T: (笑)熱心に指導してもらっていますね。でも、私も手計算はできないなあ。どうなんでしょう？全部覚えろ、全部計算しろ、って先生から言われているのですか？

A: いや、パソコンでやるんで、そこまでは。

23

2014年度FD第4回 2014.12.11

具体的には ②できているところを広げる会話 (暗に期待感を伝える会話)

学生指導
応用編

- 成功の責任追及…なぜうまくできたの？
- スモールステップの構築…次にすべき具体的なことは？

24

2014年度FD第4回 2014.12.11

こんな感じ 成功の責任追及

T: ふーん・・・でも、また再挑戦する？

A: します。免許に必要なんで、当然。

T: ああ、なるほど。やる気十分ですね！では、勉強不足とのことでしたので、今度はきちんとバイトもコントロールして臨める・・・？

A: そうですね。減らします。テスト前は特に。

T: OK。ではでは、最後にAさん、出席状況について何か問題があればお聞きしますが・・・ここは空欄ですね。特に学校に来辛いか、特定の授業に足が向かない、とかありませんか？⑥

A: ええ。1コマきついんですが、それはまあ怠けというか、なんというか。

T: そうでしたか。先ほどの2つの授業以外は、では順調にこなしている。なるほどー。大学生の中にはなかなか授業への出席ができない学生もいますよね。Aさんはどうして、ほとんどの授業をしっかりと休まずに受講できていると思います？ご自分で遅刻や欠席をしないための工夫などあったら、ぜひ教えてほしいのですが・・・？

25

2014年度FD第4回 2014.12.11

具 体的には ③学生の興味・関心・特技を知る

・ リソース(資源)の追求

・・・内的リソース → 趣味・関心事、特技など

・・・外的リソース → 家族、友人関係で充実しているところなど

マニュアルに載っていない部分。私なら、面接前、面接後の少しの時間、ざっくり「〇〇くん、大学に入ってどんなことに打ち込んでるの？」「なんか面白い趣味とか見つかった？」など、聞いてしまいます。

26

2014年度FD第4回 2014.12.11

結 論 全2回のFD総括

- ・ GPA面接を行うことは避けて通れない。あきらめよう。むしろその機会を利用して、学生指導&問題発生予防をしまおう。
- ・ GPA面接のマニュアルに従った形は、今日お示した通り。良ければ参考に。
- ・ でも、GPA面接の大きな意義としては、「教員と学生が少しでも親しくなって、学校ですれ違った時に今よりほんの少し声を掛けやすくなる」ということになると思う。あまり高望みせず、まずはそのくらいの意識で初めてみるとよいのでは。

27

2014年度FD第4回 2014.12.11

ご清聴ありがとうございました！
ご意見・ご感想・ご批判(批判大歓迎！！)は、下記までお寄せください。

shun0803@shinshu-u.ac.jp